



発行元 (社)西原町シルバー人材センター
 発行 2009年(平成21年)9月
 〒903-0111 沖縄県中頭郡西原町字与那城135番地
 TEL(098)944-1699 FAX(098)944-1835
 e-mail nishihara@sjc.ne.jp



シルバーだより 第10号

シルバーで人の輪 知恵の輪 社会の輪

(全国統一スローガン)



基本理念

～ 自主・自立で更なる発展を目指す ～

- 自主 … 自分のものとして考え
- 自立 … 自分たちの力で育てる
- 共働 … 一緒になって働く
- 共助 … お互いに助け合う

シルバー人材センターの組織活動は、会員が自ら考え、目標を立てて積極的に問題の解決に当たるなど、会員が自主的・主体的に活動することを目指しています。

シルバー人材センターでの働き方は、会員が相互に協力し、ふれ合いながら力を合わせて、また共に助け合いながら仲良く就業することを基本としています。

平成21年度

通常総会開催される

平成二十一年六月五日（金）午後二時、西原町中央公民館において、平成二十一年度社団法人西原町シルバー人材センター通常総会が開催されました。

会員総数 223名に対し、出席者 121名、

委任状 45名、出席合計 166名

以上の出席を得て、社団法人西原町シルバー人材センター定款第二十二条第一項（会議の定足数）に基づき、開会とした。

定刻、泉朝順会員の司会の下、小波津勇理事長の開会のことばで始まり、翁長正吉理事長のご挨拶がありました。

引き続きご来賓より、上間明西原町長、城間信三町議会議長並びに社団法人沖縄県シルバー人材センター連合の嘉陽榮憲会長のご祝辞を賜りました。また、ご臨席頂きました連合本部、県内の各シルバー人材センターの理事長、事務局長並びに職員の方々の紹介がありました。

続いて、議長の選出に移り、平安恒政理事が選出され、議事録署名人を呉屋盛光会員と崎濱静江会員の両名が指名され、議案の審議に入りました。

議案第一号

平成二十年度事業報告

議案第二号

平成二十年度収支決算

議案第三号

平成二十一年度事業計画

議案第四号

平成二十一年度収支予算

議案第五号

役員承認

議案第六号

理事長に対する権限委任

以上、六議案について慎重なる審議の結果、全議案とも原案のとおり可決されました。

総会終了後は、第二部の懇親会が行われ、多くの会員の素晴らしい余興が披露され、にぎやかに盛り上がる中、全日程を終了しました。



理事長
翁長正吉

本日ここに平成二十一年度社団法人西原町シルバー人材センター第十六回総会を開催したところ、上間明西原町長、城間信三町議会議長、嘉陽榮憲沖縄県シルバー人材センター連合会長を始め、県内の各シルバー人材センターの理事長、事務局長のご臨席を賜り、また会員皆様多数のご出席を頂き心より感謝申し上げます。

当センターは、高齢者が自らの豊かな経験と知識を活かし、就業を通して積極的に社会参加することにより「生きがい」と「健康の増進」を図るとともに、「自立・自立・共働・共助」の基本理念のもとに、地域発展に寄与することを目的に平成五年に設立され、地域社会の担い手として着実に歩み続け、順調な事業発展を遂げており、これも会員皆様の誠意ある仕事ぶりが、地域の方々から信頼され、高く評価を得たものと存じます。

さて、当センター平成二十年度の事業実績につきましては、会員数二〇九人、受注件数一、〇九二件、契約金額一・一三、三九六千円で、就業延日人員一八、五〇四人の実績を上げております。

これも偏に会員皆様方のたゆまぬ努力と、更にシルバー事業にご理解を頂き就業の機会を提供して下さいました町当局並びに地域の皆様方の御協力の賜であります。

さて、平成二十年度は、米国に端を発した世界的な金融危機、原油高騰等が日本経済に深刻な影響をもたらした、物価高、消費の冷え込み、雇用情勢の悪化など、大きな景気後退に見舞われました。更に地方公共団体の行財政改革に伴う事業の減少など、シルバー事業を取り巻く環境も一層厳しさを増す状況にあります。

本年度は、こうした厳しい諸情勢の変化に即応し、新たなニーズを捉えながら、団塊世代の受入れを始めとする時代の要請にこたえる組織体制の構築、就業の開拓、また会員の技能・技術の習得を図り、地域に根差した組織体制の確立に向け鋭意努力して参る所存であります。また、昨年度より国において「教育、子育て・介護・環境」を重点に、シルバー人材センターと地方公共団体等が共同で企画提案した事業に国が支援する制度が導入され、当センターにおいては、町当局と連携した企画提案の方式による事業「環境」の分野で「緑のリサイクル事業」を稼働しております。

本年度は、「緑のリサイクル事業」にあたり、細部に亘る事項を

定めた実行性のある「緑のリサイクル事業実施方法書」を策定し、地域が抱える環境問題を行政や地域住民と共有し、センターとしての役割を担い、地域の環境美化・保全など循環型社会の実現に貢献できる事業として積極的に取り組んで参ります。

また「介護」の分野において、「高齢者の健康と生きがいづくり事業」を町当局と連携の下、企画提案し、積極的に推進して参ります。これらの事業を併せ、就業機会の拡大を図るとともに、センター運営の自立化と組織体制の強化を目指し、会員、役職員が一丸となり、最善の努力を尽くし、傾注して参る所存であります。

本日は、平成二十年度事業報告、収支決算を始め、二十一年度の事業計画並びに予算、また役員承認などの六議案を提案しておりますが、いずれも重要な案件でございますので十分ご審議頂き、実りある総会となりますことを祈念致します。

終りになりましたが、設立以来色々とご指導、ご支援を賜りました国、県、町当局、並びに県シルバー人材センター連合、そして各関係機関の皆様改めて厚く御礼申し上げますとともに、本日出席頂きました皆様の健康と益々のご活躍を祈念致しまして、私の挨拶と致します。

地域の方々、行政の支援と会員の努力で一定の成果 自主・自立・共働・共助の理念の下で



事務局による議案説明



議場にて拍手で承認



懇親会で乾杯



民謡ショー



前原輝雄会員



かぎやで風

平成20年度会員の状況(年齢別・性別会員数)

区 分	総 数	60歳未満	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上
男	168 人	3 人	20 人	69 人	53 人	16 人	7 人
女	41 人	1 人	3 人	14 人	9 人	13 人	1 人
計	209 人	4 人	23 人	83 人	62 人	29 人	8 人
割 合	100 %	1.9 %	11 %	39.7 %	29.7 %	13.9 %	3.8 %

平成20年度事業実績(職群別事業実績)

区 分		事 項	受注 件数 (件)	職群別 登 録 会員数	就 業 延人員 (人日)	契 約 金 額 (円)			
						配分金	材料費等	事務費	合計
職 群 別 内 訳	技 術 群		1	22	1	3,300	8,630	315	12,245
	技 能 群		290	46	2,131	12,331,450	8,051,101	1,214,683	21,597,234
	事務整理群		14	8	70	136,570	0	14,342	150,912
	管 理 群		15	7	3,560	13,162,673	6,844,775	1,274,171	21,281,619
	折衝外交群		1	4	8	21,400	0	2,058	23,458
	一般作業群		740	121	12,123	52,601,350	10,411,834	5,126,002	68,139,186
	サービス群		25	1	592	1,700,580	25,600	176,576	1,902,756
	そ の 他		6	0	19	146,316	128,051	15,207	289,574
合 計			1,092	209	18,504	80,103,639	25,469,991	7,823,354	113,396,984

地域班紹介

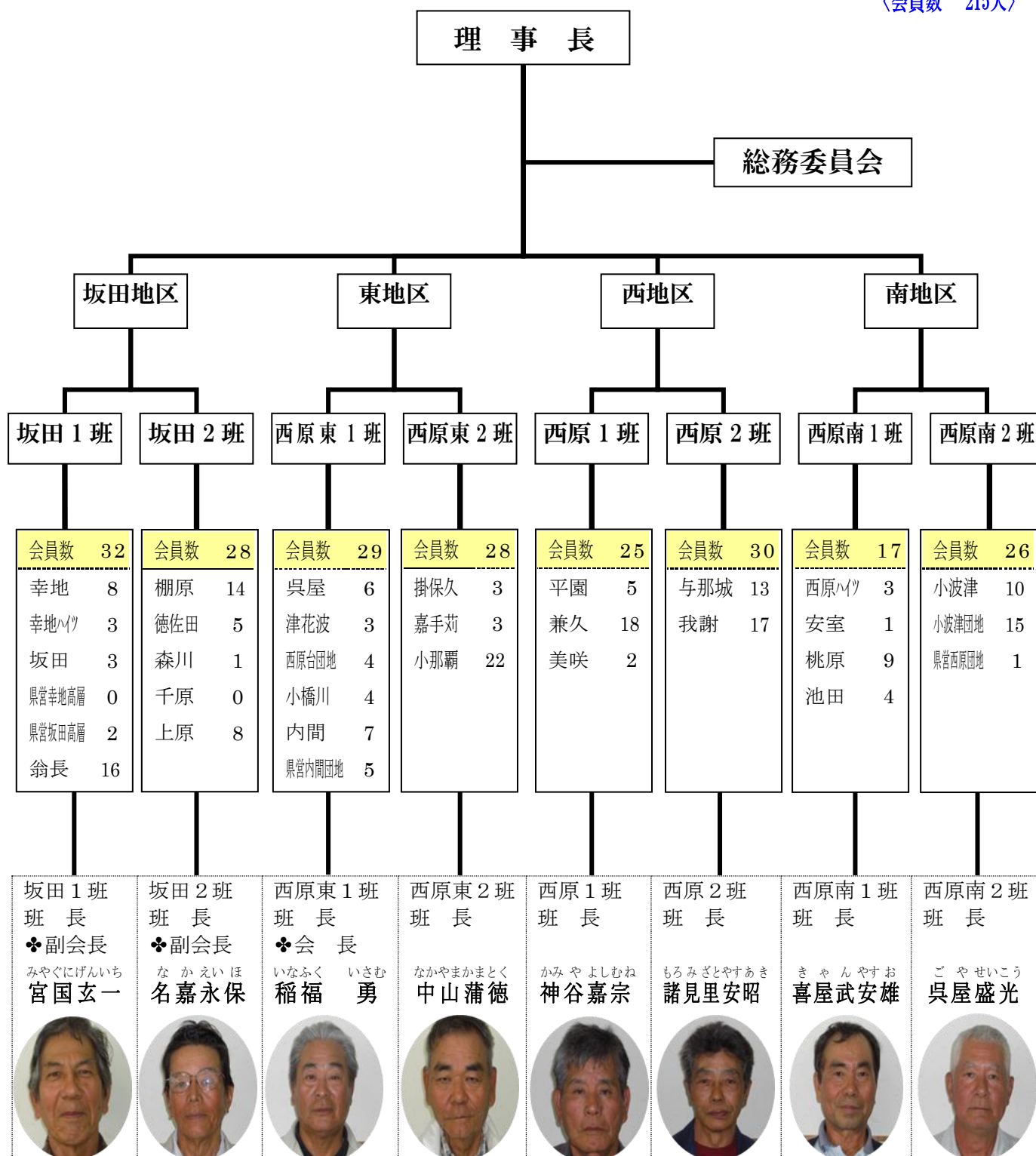
～ 地域班長について ～

地区を単位として、全正会員で構成する地域班において、社団法人西原町シルバー人材センター地域班設置要綱第 4 条に基づき、各地域班長及び正副会長が平成 21 年 4 月 8 日付選任されました。

(社)西原町シルバー人材センター地域班組織図

行政区数32区

〈平成21年4月30日現在〉
〈会員数 215人〉





例年七月は「シルバー人材センター事業安全・適正就業強化月間」と定め、全国一斉に各拠点センターにおいて様々な取組みがなされています。

当シルバー人材センターでは、七月二日(木)午後四時四十五分、社会福祉センター大広間において「平成二十一年度(第四回)安全就業推進大会」を開催いたしました。当日は会員一〇八人出席の下、玉那覇信助安全委員の開会挨拶で始まり、翁長正吉理事長の挨拶をご名代、平安恒政理事より挨拶がなされました。続いて、上間明西原町長のご名代、城間正一副町長より激励の挨拶がありました。

大会次第に沿って、川満英一安全委員長より、平成二十年度事故発生状況報告書、過去三年間の事故状況報告など資料提示の上、詳細な安全就業状況の報告がなされました。

続いて、「平成二十一年度安全標語入選者表彰」に移り、同標語については今年度応募において、四十九点の作品の中から厳正な審査の結果、三点の作品が決定し、下記のとおり入選者(三名)の発表並びに表彰が行われました。

次の日程六、会員の意見発表として、與古田ユキ子会員、島田繁会員より、自らの体験を例に挙げ、日常の就業に関して感じた事など貴重な意見の発表がありました。

日程七、稲福勇地域班長会会長より「大会決議」が読み上げられ、会員総意の下、大会決議が採択されました。

次に日程八、安里安雄安全副委員長より「安全宣言」として、事故ゼロを目指し、安全就業の励行、安全就業の徹底を宣言しました。

引き続き日程九、心理療法士&笑顔開発士、真栄田絵麻先生より「笑が人生の万能薬・・・いつも笑って元気」を演題に、心の健康こそが身体の健康に繋がる、その要となるものが「笑顔」であり、「笑う顔に福来る」と、ご自身の体験談を交え、心身の健康について説かれ、大変有意義な講演となりました。

最後に、平良正一事務局長より、「安全就業の徹底」について、会員のみなさんへ協力を願い、大会を終了致しました。

安全標語入選作品 (応募総数49点)

最優秀賞

笑顔いっぱい 共働 共助 今日も一日安全就業
仲根正久

優秀賞

気を引き締め 今日も一日安全就業
中山蒲徳

佳作

一人一人の安全意識で安全就業
新川助一



「笑って元気！」講演にて
講師 真栄田絵麻



安全標語入選者
右から仲根正久さん、中山蒲徳さん、新川助一さん



安全就業状況報告
安全委員長 川満英一



～ 企画提案方式事業とは ～

地域における「教育」「子育て」「介護」「環境」分野の需要に対応するため、シルバー人材センターと地方公共団体が連携し、共同で企画提案した事業に対し、一定の事業効果が見込めると認められた企画について国が支援する制度による事業です。当センターでは、町当局と連携した企画提案方式による事業「環境」の分野において、「緑のリサイクル事業」を導入し、取り組んでいます。

緑のリサイクル事業

～ 事業構想を企画・提案 就業機会の拡大 ～
地域の環境美化・保全 循環型社会の実現に貢献

草木類を再利用し堆肥化に取り組む

翁長理事長は、平成二十年度から西原町と連携して企画提案方式による緑のリサイクル事業を導入し堆肥化に取り組んでいる。

本事業は、一般家庭や公共施設・会員の就業先から発生する草木類をチップパーシュレッダーでチップ化してEM菌で発酵させた米ぬかを投入、そして発酵槽で発酵熱を管理し攪拌を繰り返しながら八ヶ月間かけて「かえるくん」(有機質堆肥)の生産に余念がない。チップ材は敷き草として活用し、「かえるくん」は、家庭菜園や草花の培養土、農家へ有機質堆肥として安く還元できるとしている。担当者とコーディネーターは、「かえるくん」を活用して町民が土とふれあい「安全で安心」できる野菜や草花を栽培して健康づくりに取り組んで貰いたいとしている。

人材センターは、事業を通して地域の環境美化や保全など循環型社会の実現に貢献するとともに、堆肥の一部を町立学校や公共施設・自治会等へ無償提供して町内の施設に花いっぱい運動を奨励し地域に貢献できるリサイクル事業として位置づけている。

緑のリサイクル事業は、センターの独自事業として地域特性を活かした新たな商品開発に努め、高齢者が地域社会に貢献できる事業として、会員の就業機会の確保など緑のリサイクル事業は会員からの期待も大きい。

※ センターは、10月17日・18日開催の第17回西原まつり会場で「かえるくん」五百袋の無償配布が予定されています。町民のご来場をお待ちしています。



ボランティア活動

町内公共施設等除草・清掃作業

当センターでは、様々なボランティア活動を実施しております。中でも、毎年 6 月 23 日「慰霊の日」は「西原の塔」において戦没者追悼式が行われ、県内外から多くの遺族や関係者の方々が来場されるとあって、当センターでは、直前にボランティア作業の実施が恒例となっております。今年も 6 月 13 日(土)に 60 名余の会員、役職員で除草・清掃を行いました。

また、地域の皆様、行政当局へ日頃の感謝の意を込め、8 月 1 日(土)、西原町中央公民館・西原町立図書館・旧西原村役場壕跡の三カ所の公共施設において、会員並びに役職員 108 参加の下、除草・清掃作業を実施しました。当日は炎天下にもかかわらず多くの会員の参加、また上間町長の激励、町長自ら作業への参加で、ご協力を頂きました。参加された皆さんのご協力により長く伸びた草木がきれいに刈り取られ、多くの方から感謝の言葉を頂き、清々しい気持ちの中、所期の目的を達成することが出来ました。

翁長正吉理事長



激励のあいさつ



上間明西原町長



町立図書館作業 前・後



「高齢者の健康と生きがいづくり事業」ボランティア

当センターでは、平成 21 年度導入の企画提案方式事業「介護」の分野で、町当局と連携の下、「高齢者の健康と生きがいづくり事業」に取り組んでおります。本格的な始動を前に、女性会員を中心としたボランティア活動を実施しました。同様のボランティア活動は、この後も、普及啓発を兼ねて幅広く実施し、取り組んで参ります。

～介護老人保健施設 西原敬愛園にて～



施設職員と入念な打ち合せ



施設入所高齢者のお話に聴き入る会員



施設入所者と気軽に楽しく交流

事務局だより

配分金支払日カレンダー

就業月	配分金支払日
十月	十月十五日(木)
十一月	十一月十六日(月)
十二月	十二月十五日(火)
一月	一月十五日(金)
二月	二月十五日(月)
三月	三月十五日(月)

配分金は就業した会員に対し、就業報告書に基づき月末締めにて翌月十五日(祝祭日及び土日にあたる日は支払い日後、最も近い日)に、指定の金融機関(農協・郵便局)において本人名義の口座へ振込みにより支払われます。

※ 配分金明細書の発行は、各月の配分金支払いに伴い、事務局にて、月単位で十五日には発行されておりますので、各自、受取るようお願いいたします。なお、明細書内容は確認して頂き、不明の点がある場合は業務担当に申し出て下さい。

就業報告書の提出について

就業報告書は、正確に記入し、就業終了後、速やかに提出して下さい。

※ 提出が遅れますと、事務処理上、配分金支払いに支障となりますので、就業終了後、単発就業は三日以内、月末就業分については翌月の三日までに提出して下さい。

ご協力をお願い

十月は「普及啓発促進月間」

十月は「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」とされ、全国一斉に普及啓発活動が実施されます。当センターにおいては、会員増加運動要領を作成し、地域班を単位とした会員増加目標数を設定の上、「平成二十一年度会員増加運動」を展開して参ります。特に「会員一人が一人の仲間を増やす」運動を実施し、目標達成に取組めます。

また、「シルバーの日」(十月第三土曜日)において、ボランティア活動を始め、様々な取組みを展開しておりますが、今年度は第三土曜が「第十七回西原まつり」にあたることから、同まつりを活用し、シルバー人材センターの普及啓発活動を実施致します。当日は、まつり会場にて、パネル展示のほか、「緑のリサイクル事業」にあたって、一般来場者へアンケート調査を実施し、回答された方に「かえるくん(特選腐葉土)」を無償配布し、堆肥の製造販売における効果的な普及啓発に取組めます。

以上の普及啓発活動については、左記の日程において、会員・役職員が一丸となって強力に推進して参りますので、皆様のご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

①「平成二十一年度会員増加運動」

【運動期間】 平成21年10月1日～12月末まで
(3ヶ月間)

②「シルバーの日」の取組み

【開催日】 平成21年10月17日(土)～

平成21年10月18日(日)まで

※ 第17回西原まつり開催同日の(2日間)

会員入会のすすめ

シルバー会員になるには

◆ 西原町に居住する健康で働く意欲のある概ね60歳以上の方。

◆ 入会説明会を受けた方。

※ 入会説明会は毎月第四金曜日午後2時～当センターにて開催しております。

◆ お問合せ(※お気軽にお問合せ下さい。)

(社)西原町シルバー人材センター

☎ 994・1699

皆さんの投稿お待ちしています

会員皆様の原稿を募集の上、「会員の広場」を設け、同だよりに掲載を予定しておりますので、ご協力をお願い致します。

● 身近で起きた出来事、話題、就業で感じた事、意見、提言などの投稿文(四〇〇字以内)

● 写真(風景・人物・その他)

● 詩、短歌、俳句、川柳、琉歌など

● 絵画・水彩画・水墨画など

● ご自分の趣味の作品、手入れされた庭、盆栽、花壇、自家菜園など(写真可)

(※)要望があれば取材に伺います。

その他、何でも結構ですので積極的なご投稿をお待ちしております。

尚、これまでパネル展などに提出した作品でも結構ですので、ご協力お願い致します。

編集後記

残暑とはいえ、まだまだ厳しい暑さが続きます。また「新型インフルエンザ」感染拡大が懸念されていますが、手洗い・うがいの励行などの感染予防や、無理のない就業と十分な休養で、健康維持に努めて頂きたいと思います。

秋には恒例のピクニックも開催されます。改めてご案内致しますので、会員皆様の多数の参加で楽しく過ごしましょう！